

定 例 会 議 会 議 録

開 催 日 時	令和8年2月4日（水）午前10時00分 ～ 午後0時00分	
開 催 場 所	特別会議室、公安委員会室	
区 分	『 全 体 会 議 』 議 題 ・ 要 旨	主 管 部
【 報 告 事 項 】	<p>1 第399回県議会（2月定例会）の開催日程等について</p> <p>会期は、2月17日（火）から3月18日（水）までの30日間が見込まれている。警察関係の議案等については、予算議案として、「令和8年度宮城県一般会計当初予算」、「令和7年度宮城県一般会計補正予算」の2件が提出される。当初予算の内容については、警察本部関係の歳出は、595億3,138万4千円が計上されている。</p> <p>また、補正予算の内容については、年度末に向けて既存予算の過不足調整を行うものであり、全体として13億2,795万5千円の増額となる。</p> <p>予算外議案については、条例議案として1月14日に報告のとおり、公安委員会関係手数料条例の一部を改正する条例議案が1件提出される。</p> <p>その他、条例外議案として、和解及び損害賠償額の決定を提出する。内容については、令和6年6月、パトカーで警ら中の警察署員が、自転車乗車中の交通違反者へ停止を求めたところ停止要請に従わなかったことから、自転車を追い越し前方に停車しようとした際、車両後部と自転車が接触し相手方が転倒、怪我を負わせたものである。専決処分報告については、交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定5件83万8,031円が報告される。</p>	総 務 部
	<p>2 令和7年宮城県警察基本目標の取組結果等について</p> <p>○刑法犯認知件数の抑止【生活安全部】</p> <p>令和7年中の県内の刑法犯認知件数は、暫定値であるものの1万1,283件（前年比－102件）であった。罪種別では、認知件数が最も多い窃盗犯が7,159件（前年比＋63件）、詐欺が1,220件（前年比＋49件）であった。認知件数が最も多い窃盗犯のうち、手口別で多いのは万引きで1,888件（＋375件）、次いで多い自転車盗は1,820件（－147件）であった。万引きの被害増加や自転車盗も高い水準で推移している状況から、犯罪の発生状況を分析し関係機関や防犯団体と連携した諸対策を強化していく。</p> <p>○交通事故死者数の抑止【交通部】</p> <p>令和7年中の交通事故死者数は38人で前年と比較して－9人であった。死亡事故の特徴としては、65歳以上の高齢者の死者数が23人（前年比－3人）で減少したものの、全死者数の約6割を占め、率にして5.2%の増加となった。また、歩行者の死者数は15人（前年比＋2人）で全死者数に占める割合は39.5%で前年より11.8%増加した。本年も年間抑止目標の達成に向け、高齢者事故等の各種交通事故抑止対策や、指導取締りなどの運転者に緊張感を持たせる「見える・見せる」街頭活動等に取り組んでまいりたい。</p> <p>○犯罪検挙状況～刑法犯【刑事部】</p> <p>刑法犯の検挙件数は、前年より157件減少の5,031件、検挙人員は、前年より190人減少の3,006人、検挙率は、前年より1.0ポイント減少の44.6%となっている。特徴としては、刑法犯全体の検挙件数は前年より減少したものの、検挙率は、全国平均を</p>	総 務 部

5.7ポイント上回っている。検挙率のうち、増加したのは重要犯罪の強盗及び放火であり、大量の捜査員を早期に動員して初動捜査を徹底するなど効果的な組織捜査を展開したことがその要因の1つとして考えられる。ただし、検挙率は日々変化するものなので世の中の情勢や各種犯罪の特徴等を捉えながら今後も効果的な組織捜査を展開し、被疑者の徹底検挙に努めてまいりたい。

○犯罪検挙状況～特別法犯【生活安全部】

令和7年中の特別法犯全体の検挙状況は、前年と比較して件数・人員ともに増加している。また、生活安全部関係の検挙については599件506人であり、前年と比較して検挙件数はほぼ横ばいであるものの、検挙人員は増加した。中でも国分町地区において最大規模の勢力を誇る客引き組織の一斉摘発による風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反、同グループと関係を有するスカウトによる職業安定法違反の検挙など社会的に関心の高い悪質な犯罪を検挙しております。

本年もあらゆる警察活動を通じて端緒の把握に努め、県民に不安を与える悪質な事犯に重点を置いた特別法犯の検挙に努めてまいりたい。

○犯罪検挙状況～特別法犯【組織犯罪対策局】

特別法犯のうち、令和7年における薬物事犯検挙は、223件147人で前年と比較して検挙件数・人員は47件28人の増加となった。増加した要因として、令和6年12月に大麻の使用罪が新設され、18件6人を検挙したほか、覚醒剤事犯の検挙件数・人員が21件20人となったことが挙げられる。覚醒剤事犯の増加の要因については、職務質問等の街頭活動を強化したことや合同捜査により組織中枢の検挙を推進し、密売組織の壊滅を図った結果だと思われる。

近年全国的に高止まりの傾向にある大麻取締法違反の検挙は県内においても引き続き高水準で推移しており、大麻事犯の捜査と乱用防止を進めていく。大麻の乱用拡大の要因は、30歳未満の若年層にインターネット等で危険性を軽視する誤った情報が広まっていることや、SNS等の普及によって大麻入手の容易さに魅力を感じている者が増えたためと考えている。

委員：認知件数が最も多い窃盗犯のうち、万引きが増加したとのことだがニュース等で高齢者の万引きが多いと報道されており、傾向としてはどうか。

生活安全部長：万引きについては少年と高齢者の割合が高い。中でも少年は全体の約11%だが、65歳以上の高齢者の割合は約40%と高く、前年比を見ても少年、高齢者の割合は増加している。犯行動機については生活困窮が最も多いため、そういった動機も増加の要因になっていると思われる。

委員：高齢者も年金で生活している方や家族が遠方にいる独居老人が孤立を感じて犯罪に走る傾向もあると思う。我々民間でも支援やサポートできる部分もあるのではないかと感じた。

3 特殊詐欺等の対策について（令和7年）

【生活安全部】

令和7年中における特殊詐欺の認知件数は、県の集計では、404件で前年比30件増、被害金額は、約22億9,401万円で前年比約7億2,179万円増となっている。特徴としてニセ警察官詐欺を含むオレオレ詐欺は認知件数の約45%、被害額の約79%を占

生活安全部
組織犯罪対策局

め、被害者の年齢層は10代から90代と幅広く、そのうち64歳以下の世代が被害者全体の約57%となっている。

犯人の電話の7割は国際電話番号が悪用されているため、県警察では国際電話利用契約の休止申込みを昨年中は4,944件促進したほか、県警察が行っている特殊詐欺電話撃退装置等補助金事業により941件の申請を受理している。また、高齢者世帯への戸別訪問、コンビニ、金融機関と連携した水際対策のほか、各種広報活動により被害防止を図っているところである。

SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数は242件で前年比30件増、被害金額は約23億8,789万円で前年比約7億4,584万円増となっている。特徴として被害者の年齢層が20代から80代と幅広く、そのうち40代と50代の2つの世代で全体の47%を占めている。騙しのツールとして使用されるSNSはInstagramが最も多く、次いでフェイスブック、LINEが多い。

被害防止対策として、昨年県警の事業としてYouTube、Instagramにおいて、本県出身の元乃木坂46の久保史緒里さん、宮城防犯広報大使の萌江さん出演の広報動画を作成するなど、各種広報を行った。特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害は、幅広い年代に及んでいる他、被害者の職種も会社員、公務員、自営業、パート、アルバイトなど多岐にわたり、また、被害に遭われた方の7割は手口を知らなかったと回答していることから、本年は、特に被害の多いニセ警察官詐欺とSNS型投資・ロマンス詐欺の手口に重点を絞り、高齢者以外の現役世代を対象とした手口と被害防止対策の周知広報を強く推進していく。今後も関係機関団体等と、より一層連携を図り、被害防止対策に取り組んでまいりたい。

【組織犯罪対策局】

令和7年中における特殊詐欺の検挙状況については、検挙件数が92件、検挙人員が22人で、SNS型投資・ロマンス詐欺の検挙件数は5件、検挙人員は3人となっている。検挙について、対面型犯行の受け子被疑者は検挙できている反面、非対面の犯行となる振込型の検挙が少ないことやリクルーターや中枢被疑者への突き上げ捜査が課題と考えている。

特殊詐欺対策プロジェクトチーム（PT）は、各部門の垣根を越えて人員を集中運用して特殊詐欺等の根絶に向けた総合対策を推進するため、令和5年度に本部及び仙台市内を管轄する6署に設置し、運用している。

主なPTの取組状況については、犯行ツール対策として県内に本店を置く18金融機関との間で特殊詐欺等の根絶に向けた協定を締結した。その取組の一つとして金融機関が顧客の取引状況をモニタリングし、特殊詐欺等の被害のおそれがある取引を把握した際に警察に通報がなされ、警察がその顧客に接触して被害の拡大防止を図るモニタリング通報という取組があり、令和7年中は金融機関から100件超の通報を受け、約1億3,000万円の被害を防止している。

効果的な取締りについては、令和6年4月全国警察に設置された特殊詐欺連合捜査班により、捜査嘱託による合理的・効果的な捜査を推進しており、連合捜査班と警察署の連携により受け子被疑者等20件20人を検挙している。

特殊詐欺等を巡る極めて厳しい情勢を踏まえ、今後の方針としては、特殊詐欺等を主要な資金源とする匿名・流動型犯罪グループの中枢をターゲットとした取締りを推進するとともに被害実態に即した実効ある抑止対策を推進してまいりたい。

委員：最近ではテレビでもマネーロンダリングを取り上げ

るなど社会問題となっている。県警が一生懸命様々な取組を行っていることは承知しているが、警察だけで解決できる問題ではないので、我々県民と一緒に取り組んでいく必要があると思う。

生活安全部長：これまでの高齢者を中心とした対策だけではなく、現役世代の被害も急増しているため、幅広い年代に向けた抑止対策を強化してまいりたい。

4 令和8年度組織機構改編の概要について

警 務 部

大綱1点目の特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺等の犯行グループである匿名流動型犯罪グループ対策については、全国警察を挙げて取り組んでいるところであり、本県においてもその体制を強化するため、関係する所属内の再編や増員等を行い、取り締まりを強化して実態解明等を推進していく。

2点目のサイバー空間の脅威に対する総合対策の推進について、関係する所属の増員を行う。

3点目の犯罪抑止総合対策と少年の健全育成活動の推進について、関係する所属の増員を行う。

4点目の県民に不安を与える犯罪の徹底検挙について、関係する所属の捜査指揮体制を強化する。

5点目の交通死亡事故の抑止と飲酒運転の根絶について、令和8年4月から自転車の交通反則通告制度が開始されることに伴い、関係する所属の指揮体制の強化及び担当係の統合等の再編を行う。

6点目の警戒の空白を生じさせないための組織基盤の強化について、関係する所属内に新たな係を設置し、SNS等を活用した能動的な情報発信を行っていく。これによりSNSを普段使っている若年層の採用募集活動等にも繋げていきたいと考えている。

また、ハラスメント防止対策を強化するための増員や犯罪被害者支援を強化するための増員等を行う。

交番駐在所の統廃合については、岩沼警察署庁舎建替に伴い岩沼駅東口に千貫駐在所と署所在地交番を統合した新たな交番を設置する。

さらに、昨年から導入した日勤制交番について、対象の交番を拡大する。

AIの活用をはじめとする科学技術の導入や警察署機能の再編など、警察庁でも様々な動きがあるが、本県においても不断の検討を続けてまいりたい。

委員：選挙期間中であるが新内閣になった後、外国人の取扱いも変わってくる可能性はあるかと思うが、その対応についてはどうか。

警務部長：選挙後の新内閣により様々な政策が決定した場合には全国的に影響が出るような可能性はあるが、警察庁や関係機関と連携の上、それに合わせた人員の配置等を考えてまいりたい。

本部長：国際化に関しては東北地方はまだ首都圏に比べて外国人の数は少ない。他県警では現在進行形で苦勞しているところもあるので、他県警の取組も参考にして本県で何ができるかということをしつかりと考えてまいりたい。

委員：最近では自治体にもスマートシュリンクという考え方ができて、これから人口が減少していく中で益々賢く縮めていかななくてはいけない。警察でも

	<p>増員が難しくなる中では交番駐在所の統廃合などを進めていく必要があると思う。ぜひ地元住民にも丁寧な説明をしながら進めていただきたい。</p> <p>警務部長：承知した。地域の安全安心を守る上で何が最適なのかについて、地域住民の理解が得られるよう努めてまいりたい。</p>	
--	---	--

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 苦情の受理について	総 務 課
	2 個人情報保護審査会への諮問について	総 務 課
	3 審査請求の裁決案について（2件）	監 察 課
	4 風俗業者に対する風俗営業及び飲食店営業の営業停止命令について（2件）	生活安全企画課
	5 風俗業者に対する許可の取消し及び飲食店営業の営業停止命令について	生活安全企画課
	6 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	運 転 免 許 課
【 報 告 事 項 】	1 JR気仙沼線BRTにおける特定自動運行の許可申請の受理について	交 通 企 画 課